（様式）

**記入例**

文書番号

平成29年5月●日

大阪府教育長　様

●●高等学校

校 長　 谷 町　太 郎

ＴＯＥＦＬ　ｉＢＴチャレンジ支援事業計画書

　平成29年度のTOEFL iBT チャレンジ支援事業による支援を受けたいので、本計画書を提出いたします。

記

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 活用形態等 | 参加予定数 | １年２０人 | ２年２０人 | ３年　０人 | 計　４０人当てはまるものに○を |
| 実施回数 | 年　２　回 |
| 講座名 | 「ＴＯＥＦＬチャレンジ土曜講座」 |
| 形 態 | 1)授業（　　）単位 　　2) 講習 　3)部活動 　4)その他（　　　　　 　　　） |
| 開講数（　　２　　）講座・クラス | １講座（ 　１２０　 ）分 |
| 場　所 | 第１ＬＡＮ教室　及び　第２ＬＡＮ教室 |
| 計画の概要等内容について補足があれば記入。 | 実施日時等 | 実施内容（具体的に） |
| 1. ６月10日（土）
2. ６月17日（土）
3. ６月24日（土）
4. ７月15日（土）
5. 11月11日（土）
6. 12月 9日（土）
7. 12月16日（土）
 | ＜第１回： TOEFLの試験になれることを目的とするTerm＞テストの各セクションをそれぞれの講座に振り分けて、制限時間の中で実践する。各講座ごとに６０分オンラインテストを実施した後、復習、解説を６０分実施する。　　　　＜第２回： 得点ＵＰにチャレンジするTerm＞　　　　実践を意識しながらテストに挑戦する。１講座で２セクションのテストを実施。最終日は総復習にあてる。３回のテストの点数の伸びを検証する。授業で実施する場合は、曜日・時限等を明記する。（実施日時例）　１学期　毎月曜６限目　　　　　　　　　　　　　毎金曜３限目　　など |
| 【備考】４０人の生徒を２クラスに分け講座を開講し、オンライン教材の各セクションについて２講座で扱う。「オンラインテスト実施」＋「復習＆解説」を１２０分で行う。 |

※TOEFL iBT受験計画者数　[　８０　]人　（本番の受験を予定している生徒数を記載してください。）